

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 エージングアシスト	代表者	大石 綾	法人・ 事業所 の特徴	協力医療機関におかがわ内科、居宅介護支援事業、福祉用具貸与事業等、医療と介護を総合的にサービス提供することができる。
事業所名	四宮邸 大雅	管理者	服部 卓哉		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	人	人	人	人	人	2人	人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			内部で行う研修等は参加、理解しているが、外部や地域との交流、連携については参加ができていない。	特定の職員に限らず、全職員が参加していけるようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境			他施設では日中、玄関の施錠を実施しているが、大雅は実施していない。大雅では日中解錠しているが、夜間は施錠している。	問題点の指摘もなかった為、今後も現状を維持できるように努める。
C. 事業所と地域のかかわり			事業所は近隣地域住民から周知されており、地域の相談場所となっている。	今後も近隣住民とも積極的に関わりを持つようにする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			地域行事への参加をしているのか？行事の開催の情報を確認しているのか？	コロナ禍からは近隣の行事参加は殆ど出来ていない。今後は行事の開催日時を把握し、行事に参加できるよう努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進会議で事業の取組は分かり易く説明されているが、地域住民の心配事等の事例検討は実施されていない。	地域住民との関係をもっと密に行い、住民の話にもっと耳を傾けるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策			近隣住民と一緒に訓練を行っているのか？地域の防災訓練の参加はしているのか？	近隣住民と一緒に防災訓練の計画実施、地域の防災訓練への参加調整を行う。